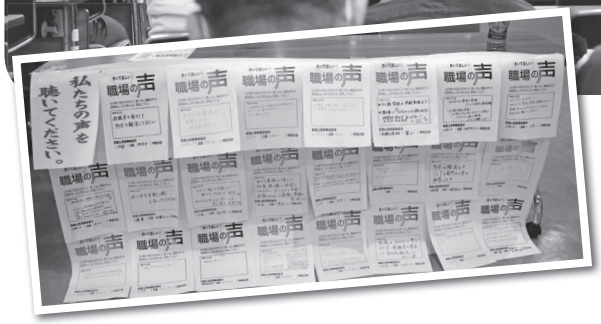
和教時報

2021年12月15日（水）発行　第1980号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

みんなの力で得た成果

和教組を強くして 2021確定交渉 働きやすい職場を実現しよう!

和教組　書記長　川口　貴生



要求書提出の一〇月二六日から一一月一七日まで、四回の交渉を行いました。昨年同様、新型コロナ対策のため参加人数を制限し、八七名が会場に参加、一一五名が支部の教育会館などでオンライン視聴しました。

結果は一時金の削減という不満の残る内容でしたが、会計年度任用職員の削減幅を圧縮させ、来年度以降に再任用職員（フルタイム）の一時金に役職加算を付与することができました。

県人事委員会がはじめて「教育職員の働き方改革の推進」と項を設け、「取組を強力に推進」せよと報告したことを取り上げ、負担軽減を求めました。「学力向上対策や県学力テストをやめ、授業準備の時間をよこせ」という要求に対し、県教委は全国学テの結果を持ち出し「対策は必要」と答え、参加者の怒りが爆発する場面もありました。最終回答で「人勧を重く受け止め、長時間労働の是正を一層進める」と回答がありましたが、今後の具体化が重要です。また、学力対策等の負担軽減について別途交渉で求めます。

人事院が「仕事と家庭の両立支援の推進」を掲げ、出産や育児に関する権利の改善を勧告し、これらも前進しました。中学校の体育実技に係る妊婦の労働軽減措置を、従来の四か月間から、全期間に拡大しました。

みなさんにご協力いただいたアンケートをもとにハラスメント対策を求め、「地教委を指導していく」と回答がありました。病休等の補充者の夏休み中の任用や、臨時的任用職員の年休繰越しの改善もありました。

みなさんには交渉参加や「職場の声」作成などご協力いただき、これらの成果は、みんなの力で得たものです。このように県教委と対等の立場で交渉が行われるのは、組合が私的な集団ではなく、憲法や法律にもとづく公的な組織であるからです。管理強化や多忙に苦しむ今の職場にとって、教職員組合はなくてはならないものとなっています。組合のことを知らない人に声をかけ、もっと強い組織にして、働きやすい職場を実現しましょう。

ピンのスポット 398

以前、国民救援会の美術展で掛け軸を買った。大きな月の下で、小舟の縁に座った河童が釣り糸を垂らしている絵だ。満月が描かれているので、毎年、秋になると床に掛ける。

当たり前だが、いつ見ても釣れておらず、河童は頬杖をつき糸の先を見ているのだが、その姿は楽しそうにも見える。私は釣りをしないので分からないが、釣れた時の歓びは当然として、その瞬間を求めて待つ楽しみも大きいのかもしれない。

先日の選挙では、新自由主義や改憲を進める勢力の弱体化を期待したが、逆に三分の二の議席をとられてしまった。さらに運動を強めていかなければならない。

要求実現は簡単ではないが、河童のように楽しみながら、粘り強く追い求めたいと思う。　（K）

未来をひらく教育のつどい オンラインで実施!!

和教組　書記次長　岩田　美和

今年の県教研は全体会一二月三日、分科会一一月二七日に実施しました。コロナ禍ということもあり、オンラインでのＺＯＯＭミーティング形式にするためにホームページの活用も進みました。各地域の教研集会が縮小や中止されるところが相次ぎ、レポートづくりにはどの分科会も苦労しましたが、ＯＢのレポートの参加もあり、従前からの開かれた教研の力を発揮することが出来ました。選りすぐりのレポートばかりで、充実した議論ができた分科会が多かったようです。

全体会：真剣な表情の聴衆

分科会は…

午前の分科会「平和と民主主義・道徳教育」に四本のレポートが出たうちの一本は、事前にこの分科会の世話人などが集まって「戦跡巡りフィールドワーク」を録画したものを流しました。薄れゆく戦争の記録を残すことができ、貴重な財産となりました。

又、「不登校、登校拒否」の分科会では保護者の方がコロナ禍を経て、学校に行きづらくなった我が子との葛藤の日々をお話し下さいました。様々な立場の方から、子どもと学校が抱える問題を話し合うことができたようです。昨年も、来年こそは誘い合って対面で議論したい、という声が多かったのですが、多くの分科会は一〇人以下の参加で、職場の多忙化が深刻な中、新たな教研のあり方を考える必要性も感じています。

全体会は…

全体会講師は高知県土佐町町議会議員で教育研究家の鈴木大裕さんを招き「市場化する教育のゆくえ」と題し、一時間三〇分ご講演をいただきました。ご本人は高校生でアメリカに留学し、日本の公立中学教師を経験して再びコロンビア大学で教育博士号を取られた経歴があります。そこで、アメリカの公教育の衰退を目の当たりにし、日本でも「物だけでなく医療や教育、何でもお金で買える時代」になりつつある事に危機感を顕わにされました。学校は「お客様に教育をする」ことへの矛盾を抱え、授業をする事以外の活動がそぎ落とされてしまい、ますます塾化していると指摘されていました。

この新自由主義の路線が教育にも入り込み、ますますものを言わない教師を作っているという状況の中で、今年話題になった大阪の小学校の校長先生の投書の全文を読み上げられました。大阪だけの問題ではないと感じた参加者からは思わず拍手が起こりました。この事態を「教師のやりがいに頼るのではなく、政治をかえるしかない」という思いから、小さな町から教育改革の実績を作り、オンラインや雑誌『クレスコ』、ツイッターや書籍を通して全国に発信を続けておられます。和教組に書籍を二種類預かっておりますので、どうぞご購入下さい。

分科会：オンライン運営の様子

11/24 原発ゼロ県民の会総会＆学習会

今こそ、原発ゼロの運動をひろげよう！

一一月二四日（水）に和歌山市勤労者総合センターで和教組も加盟している「原発をゼロにする和歌山県民の会」の総会＆学習会が開催されました。

中嶌哲演氏

学習会では、真言宗明通寺で住職をされており、福井県で反原発の運動に取り組まれている中嶌哲演氏を講師に迎え『今こそ「再稼働NO！原発ゼロ！」の運動を広げよう!!～原発は「安全」「経済的」「環境にやさしい」は本当か?～』と題して講演いただきました。参加者の感想の一部を紹介します。

＊和歌山県だけでなく、兵庫県・京都府の原発候補地で一機も許していないという話は新鮮でした。

＊原発もカジノも「市町に財源がない」との理由で住民の意見や美しい自然に目を向けず推し進めようとしています。将来の子どもたちに美しい自然を残し処理に何十万年もかかる核のゴミを許すわけにはいかないと強く思いました。

＊原発事故の後の巨大なりンゴ、植物、動物などショックなお話がリアルに感じました。

もたちのすこやかな成長のために」
地域の子育てを考えましょう
和歌山大学　名誉教授
講師　市川　純夫氏

那賀

地域の子育てを語る会 発足!!

コロナで延期になっていた教育共闘の組織を一〇月三一日那賀で結成しました。名前は「地域の子育てを語る会」。この日は、支部役員・教財部長の先生はじめ、高教組、労組、民主団体、個人、NPO法人など三八名という多くの人が久しぶりに教育会館に集まり、和歌山大学名誉教授、市川澄夫氏のお話を聞きました。

那賀地方では、数年前から「複雑で、山積する教育課題を少しでも解決していきたい。そのために地域で教育について考える会の場が必要だ」という声が出ていました。そして、「高校再編計画」が引き金となって、両教組が中心となり、今年一月から結成準備会をすすめてきました。

この会は、子どものすこやかな成長を願い、ゆたかな子育てと教育のために教育講演会や懇談会などを計画し、幅広い住民のみなさんとともに子どもの成長を考え、語り合う会です。今後、どの子にもゆたかな高校教育を保障する再編計画を求めていくとともに、地域のみなさんと子育て教育について語り合い、考えていきたいと思っています。それは、また私たちにとっては「教育とは何か」という教育の本質を求めていく取り組みだと思っています。

女性部「新春のつどい」オンライン併用開催

新年第１号は女性部「新春のつどい」で集まります。

オンライン併用開催ということで、多様な学習の機会を保障しています。学習会は「みんなのわがまま入門」の著者、富永京子さんが来られます。お土産争奪合戦もお楽しみに！

日時：1月8日(土) 13:30～

場所：プラザホープ（2F 多目的室）

メールまたは電話でお申し込み下さい。

Mail：w_jyosei@wkn.or.jp

TEL ：073-423-2261

1年間で1番発達を学べる　全国の状況を知れる　オンライン学習会!!

第21回全国障害児学級＆学校学習交流集会in東京（+オンライン）

2022年1月9日(日) 13:00～16:00 全体会　18:30～20:30 オンライン交流会
10日(月・祝) 9:30～12:30 実践分科会・基礎講座

全国の教職員が参加して、学びあいながら、子どもたちの気持ちや発達を大事にする教育を目指していきます。無料でオンラインだからとにかく申し込んで、気が向いたら、参加する！途中退出したって大丈夫！さぁあなたもQRコードから申し込もう！

＼お申し込みはこちら！／

シリーズ 中教審答申

学校のゆくえ

POINT 6 ICT教育と子どもたちの健康・発達

コロナ禍は私達に学校教育を根本から見つめ直す機会を与えました。昨年の一斉休校中には多くの子どもたちや保護者が学習の遅れを心配した一方で、ICT教育を希望しないという回答が一定数あるアンケート結果（＊1）もあります。学校再開後に子どもたちは、友だちと会えた事、黙食でも一緒に給食が食べられた事、県内に変更されてもみんなで修学旅行に行けたこと等の喜びがあったそうです。休校中にはゲーム漬けの毎日で、運動不足や過食による肥満も問題視されました。作文を書いている時や、辞書での調べ学習をしている時、脳は前頭前野の活動が盛んですが、「スマホ」「パソコン」を過剰に使う時はそれが抑制され、白質の発達不全がおこり老化が進むという研究（＊2）もあります。答申では「児童生徒の健康面への影響にも留意する必要」と書かれていますが、その対策には触れられていません。

タブレット端末が配備された今、わざわざICT機器を使わなくても良い活動までもそれに代わっている実態が聞こえてきます。人間の発達には、五感を使って学び、感性を育みながら、情操が形成されていく過程を踏む経験が必要です。それらがコミュニケーションの力をつけ、人間的な繋がりをもち、社会の形成者になっていくための場として学校が存在する必要があります。どれを欠いても心身の健康や発達には大きな影響があると思われます。

＊1　西郷南海子二〇二一・八「ママとして、人として求めたい未来」（京都大学人文学研究所・研究員）小学校のPTA活動の中で、二〇二〇年度にとったアンケート結果より

＊2　大谷良光　二〇二一・五「スマホ＋ICT端末で深刻化する子どもたちの健康被害」（子どもネットリスク教育研究会代表）

年末・年始

県教育会館閉鎖のお知らせ

左記の通り会館を閉鎖しますのでお知らせします。

12月28日（火）～1月4日（火）

和教共済WKKからのお知らせ

12月28日から１月４日まで事業センター閉鎖のため、和教共済の業務は、休業となります。

自動車事故等発生時の連絡先

フリーダイヤル（24時間）

0120-36-7860

その他のご用件については1月5日以降に☎073-436-7860和教共済にご連絡下さい。

教職員と家族を守る

全教自動車保険

教職員の交通事故には特別な事故対応が必要です

なぜ特別な対応が必要なのか？その理由は50秒でわかる動画で

WEBでかんたん見積り依頼

かんたん その1　どちらかご用意ください

かんたん その2　見積依頼ページから入力

現在自動車保険に加入中の方

保険（継続）証書（裏表）

※満期のご案内でも可

初めて自動車保険に入る方

見積依頼ページへアクセスしてください

ホームページ　https:zenkyo-kyosai.jp/car/

全教自動車保険は、全教各教職員組合と東京海上日動が提携して行う団体扱・集団扱の自動車保険です